

24th MATAGI- SUMMIT : Japan Traditional Hunters Conference

主催：第24回『ブナ林と狩人の会：マタギサミット in 猪苗代』実行委員会

幹事：田口洋美（狩猟文化研究所・東北芸術工科大学東北文化研究センター）

後援：(仮) 福島県、福島県猟友会、猪苗代町、東北芸術工科大学東北文化研究センター

協力：東北芸術工科大学芸術学部歴史遺産学科

1. 日時：2013（平成25）年6月29日(土)、30日(日).

2. 会場：レイクサイド磐光

〒969-2274 福島県耶麻郡猪苗代町大字壺楊字浜 130-3

TEL：0242-66-2711 Fax：0242-66-2713

3. プログラム

6月29日：午後2時半、受付開始、順次入室

午後3時半～5時半 マタギ・サミット 会場：レイクサイド磐光1F

司会：蛭原一平（東北芸術工科大学東北文化研究センター）

**テーマ『今、東北の山々で何が起きているのか vol.2.』**

(仮) 報告：「放射能汚染の現状と対策」福島県自然保護課

(仮) 講演：「福島県の狩猟状況と諸問題」（現在調整中）

講演：「狩人の役割と未来：震災後の東北における狩猟文化の行方」

田口洋美(狩猟文化研究所・東北芸術工科大学)

午後6時半～9時 交流会 会場：レイクサイド磐光2F

午後9時～11時 二次会 会場：レイクサイド磐光2F（詳細は当日に案内）

午後11時半 就寝

6月30日：午前7時～8時、朝食

午前8時半～9時、次回開催地の発表、その他 会場：レイクサイド磐光1F

午前9時 解散：自由行動（福島市、郡山町、会津若松市、その他）へ

※復興支援のために御協力を御願い致します

参加者の皆様はそれぞれの移動手段（マイクロバスや自家用車、一般の方々にはJR磐越西線を利用）で移動して頂き、可能な限り現地でお土産などの購入、昼食をお取りください。福島県内でできるだけ買い物をして頂きますようお願い申し上げます。

尚、今回の会は会費から諸経費を差し引き残金が生じた場合、復興支援基金として福島県に寄付致しますので御了解頂きますようお願い申し上げます。

# ブナ林と狩人の会 -マタギサミット-

MATAGI-SUMMIT : Japan Traditional Hunters Conference



## MATAGI-SUMMIT

JAPAN TRADITIONAL HUNTERS CONFERENCE

### 【会の目的】

『ブナ林と狩人の会-マタギサミット-』は、平成2(1990)年3月に第1回目の会が開かれて以来、毎年1回開催されている広域的山村交流会議です。

本会の発起は、中部東北地方の豪雪山岳地帯に点在する伝統的狩猟集落（マタギ集落）を中心に日本の狩猟文化を研究している田口洋美（主宰幹事：狩猟文化研究所代表。現：東北芸術工科大学教授）の呼びかけに応え、新潟県村上市松山三面（元、岩船郡朝日村三面）、秋田県北秋田郡阿仁町、長野県下水内郡栄村秋山郷の猟友会員、青年会、婦人会などの有志が集ったことにはじまります。

本会の目的は、狩猟文化（マタギ文化）を基礎に、中山間地域の生活文化の継承と発展を目指し、それぞれの集落が21世紀をどのように生き抜いていくのか、生活者自らが問題解決に向けて模索して行くための場となることです。現在、中山間地域は、自然環境（森林環境・野生動物の生息環境）の変質や生業を中心とした生活経済の変化、過疎化、高齢化、そして離村や廃村といった集落の存続すら危ぶまれる変革の時代を迎えております。これら中山間地域が共有する諸問題に対して、互いが情報を交換し、親睦をはかりつつ、知恵を出し合い工夫をこらし、来たるべき未来を自らの手で開いてゆくことを目指しています。狩猟においては、21世紀型の自然と人間の関係の再構築、狩猟後継者の人材発掘と育成を目指します。

とくに本交流会議は、中山間地域住民が育んできた動植物資源に関する捕獲採取、加工利用等の技術知、狩猟、採集、漁撈活動などによって培われてきた地域の地理的、生態的な自然に対する知、さらに農林業といった生活基盤生業を通して生活全般に渡って培われてきた自然と村落社会に対する知、これらの知が三位一体となって醸成されてきた民俗知の上に成り立ってきた事実を後継者や内外の人々に正しく伝え、さらに育てていきたいと考えます。すなわち、中山間地域の日常生活の安定した持続性こそが地域生態系、自然環境の持続性を保証するという生活と環境の相補的關係に基づいた“山と森に生かされる哲学”を手がかりに、むら人（住民）自らが未来を発見していく、そしてその生き方や考え方を一般市民が理解可能なものへと言葉化していくことを目指します。

尚、本会の運営は、各参加集落の代表者会議によって決定され、幹事がこれを実際の会の内容に反映させるというかたちを取っています。

## 【会のあゆみ】

**第1回** 1990年3月17,18日:新潟県村上市松山字三面“三面公民館”(三面集落移転地)

テーマ:クマ狩りに見られる地域性

参加者 新潟県村上市三面猟友会=9名 青年会=11名  
秋田県北秋田郡阿仁町猟友会=5名 青年会=1名  
長野県下水内郡栄村秋山郷猟友会=5名 青年会=1名  
その他=5名 計36名

主催:新潟県村上市三面猟友会  
" 青年会  
" 婦人会

協力:三面集落、三面公民館、田口洋美

**第2回** 1991年3月9,10日:秋田県北秋田郡阿仁町比立内“松橋旅館”

" 担当 “担当ふるさとセンター”

テーマ:マタギ習俗の伝承とふるさとづくりを考える

特別講演『三つのむらをつなぐもの-マタギ道考-』

田口洋美 (フィールドワーカー)

参加者 秋田県北秋田郡阿仁町猟友会=35名 青年会=10名  
新潟県村上市三面猟友会=9名 青年会=5名  
長野県下水内郡栄村秋山郷猟友会=9名 青年会=1名  
山形県東田川郡朝日村猟友会=1名  
その他=16名 計86名

主催:秋田県阿仁町猟友会有志

協力:秋田県阿仁町猟友会、松橋旅館、担当ふるさとセンター、田口洋美

**第3回** 1992年3月14,15日:長野県下水内郡栄村秋山郷上野原“のよさの里”

" 切明 “雄泉閣”

テーマ:森林資源とむらの将来 vol. 1, 1-今、野生動物たちに何が起きているのか?-

特別講演『ブナ林-その役割と生態-』

市川健夫 (東京学芸大学名誉教授)

参加者 長野県下水内郡栄村秋山郷猟友会=21名 青年会=15名 婦人会=6名  
長野県下高井郡山ノ内町奥志賀高原=1名  
秋田県北秋田郡阿仁町猟友会=5名 青年会=1名  
新潟県村上市三面猟友会=8名 青年会=6名  
山形県東田川郡朝日村猟友会=14名 朝日村役場=9名  
その他=18名 計、約102名

主催:長野県栄村秋山郷猟友会

後援:栄村

協力:栄村役場秋山支所、秋山郷婦人会、のよさの里、雄泉閣、田口洋美

**第4回** 1993年3月20,21日:山形県東田川郡朝日村大鳥“大鳥少年の家”

テーマ:森林資源とむらの将来 vol. 2-マタギ文化継承の諸問題-

特別講演『地球環境と日本の自然』

柳田耕一 (NGO 緑の地球防衛基金事務局長)

ゲストコメンテーター

後藤乙夫 (環境庁自然保護局磐梯朝日国立公園羽黒管理官事務所)

参加者 山形県東田川郡朝日村猟友会=54名 婦人会=21名  
朝日村役場関係者=13名  
秋田県北秋田郡阿仁町猟友会=1名  
新潟県村上市三面猟友会=9名 青年会=5名  
長野県下水内郡栄村秋山郷猟友会・青年会=14名  
山形県西置賜郡小国町猟友会=4名  
その他=約23名 計、約144名

主催:山形県朝日村猟友会

後援:朝日村

協力:朝日村大鳥少年の家、朝日村大鳥婦人会、田口洋美

**第5回** 1994年8月27,28日:新潟県岩船郡朝日村“村営猿田野営場”

" “旧三面集落跡地”

テーマ:森林資源とむらの将来 vol. 3-害獣対策に関する諸問題-

三面集落跡地現地説明会『奥三面遺跡発掘の現場から』

朝日村教育委員会奥三面遺跡調査室

特別講演『罫獵と集落-防御のかたち-』

田口洋美 (フィールドワーカー)

参加者 新潟県村上市三面獵友会=9名 青年会=5名  
新潟県岩船郡朝日村関係者=14名  
秋田県北秋田郡阿仁町獵友会他有志=8名  
長野県下水内郡栄村秋山郷獵友会・青年会=12名  
長野県山下高井郡ノ内町奥志賀高原=1名  
山形県西置賜郡小国町獵友会=9名  
山形県東田川郡朝日村獵友会=11名  
新潟県岩船郡山北町獵友会=4名  
その他=21名 計 94名

主催：新潟県村上市三面獵友会、青年会  
後援：朝日村  
協力：三面青年会、朝日村教育委員会、朝日村村営猿田野営場、朝日村奥三面遺跡調査室、田口洋美

第6回 1995年7月8.9日：秋田県北秋田郡阿仁町“体験実習館”

“阿仁町文化センター”

テーマ：阿仁町誕生40周年記念「阿仁マタギサミット」  
-野生動物の保護とマタギ文化の継承をめぐって-

特別講演『クマの捕獲と保護』羽澄俊裕 (野生動物保護管理事務所代表)

特別講演『クマの妊娠過程について』坪田敏男 (岐阜大学農学部助教授)

参加者 秋田県北秋田郡阿仁町獵友会=56名  
秋田県獵友会関係=24名  
秋田県阿仁町関係=16名  
新潟県村上市三面獵友会・青年会=15名  
新潟県岩船郡山北町獵友会=15名  
長野県下水内郡栄村秋山郷獵友会=15名  
長野県下高井郡山ノ内町奥志賀高原=1名  
山形県東田川郡朝日村獵友会=15名  
山形県西置賜郡小国町獵友会=15名  
宮城県刈田郡蔵王町獵友会=1名  
岩手県遠野市獵友会=1名  
その他、約22名 計、約196名

主催：阿仁町  
協力：阿仁町獵友会、秋田県獵友会、阿仁町役場産業観光課、阿仁町体験実習館、阿仁町文化センター、田口洋美

第7回 1996年6月21.22.23日：長野県下水内郡栄村秋山郷小赤沢“とねんぼ”

“民宿出口屋”

特別プログラム：第1回環日本海狩獵者会議  
-野生動物の保護と狩獵文化の継承をめぐって-

特別講演『マタギ文化と考古学』佐藤宏之 (東京大学文学部助教授)

特別講演『北方ユーラシアと日本列島を結ぶもの』佐々木史郎 (国立民族学博物館助教授)

参加者 長野県下水内郡栄村獵友会=53名 秋山郷婦人会=6名  
長野県下高井郡山ノ内町奥志賀高原=1名  
秋田県北秋田郡阿仁町獵友会=1名  
新潟県村上市三面獵友会・青年会=11名  
新潟県岩船郡山北町獵友会=16名  
山形県東田川郡朝日村獵友会=13名  
山形県西置賜郡小国町獵友会=19名  
北海道千歳市獵友会 (アイヌ民族代表) =3名  
ロシア連邦沿海州クラスヌィ・ヤール村 (ウデヘ民族代表) =2名  
その他=約28名 計、約153名

主催：長野県栄村獵友会・秋山郷獵友会  
後援：栄村  
協力：栄村役場秋山支所、とねんぼ、秋山郷婦人会、民宿出口屋、秋山郷民宿組合、北方ユーラシア学会、ユーラシアンクラブ、アイヌウタリ協会、田口洋美  
助成金：WWF Japan (世界自然保護基金日本委員会)、真知子基金

第8回 1997年3月8.9日：山形県西置賜郡小国町小玉川字長者原

“小国町立小玉川小中学校多目的ホール”・“梅花皮荘”

**テーマ：21世紀のマタギ文化を考える vol. 1**  
 特別講演『マタギの果たしてきた役割と将来』田口洋美（狩猟文化研究所代表）  
 集落代表者パネルディスカッション-問われる山村の生き方-  
 小池千秋（新潟県村上市三面）、大滝国吉（新潟県山北町山熊田）、  
 福原直市（長野県栄村秋山郷）、工藤光治（青森県西目屋村砂小瀬）、  
 工藤朝男（山形県朝日村大鳥）、佐藤実、二馬継男（山形県小国町）、  
 田口洋美  
 参加者 山形県西置賜郡小国町猟友会・その他町関係=74名  
 山形県東田川郡朝日村猟友会=18名  
 山形県東田川郡藤島町猟友会=1名  
 山形県東置賜郡高島町猟友会=2名  
 新潟県村上市三面猟友会・青年会=8名  
 新潟県岩船郡山北町猟友会=19名  
 長野県下水内郡栄村猟友会・秋山郷猟友会=10名  
 青森県中津軽郡西目屋村猟友会=2名  
 その他=約25名 計、約158名

主催：山形県小国町猟友会  
 後援：小国町、小国町観光協会、(財)小国町自然環境管理公社、  
 小玉川地区自然教育圏整備推進協議会  
 協力：小国町立小玉川小中学校、梅花皮荘、狩猟文化研究所

**第9回 1998年7月18,19日:新潟県岩船郡山北町字山熊田“山北町ふるさとふれあいセンター”**

**テーマ：21世紀のマタギ文化を考える vol. 2**  
 特別講演『海、山、川・・・ふるさと輝く町づくり』板垣実（山北町長）  
 特別講演『マタギの新たな役割とその位置づけ-地域個体群保全型狩猟に向けて-』田口洋美（狩猟文化研究所代表）  
 集落代表者パネルディスカッション-後継者の育成を考える-  
 伊藤覚（新潟県村上市三面）、大滝国吉（新潟県山北町山熊田）、  
 福原直市（長野県栄村秋山郷）、工藤朝男（山形県朝日村大鳥）、  
 藤田栄一（山形県小国町長者原）、椿勉（山形県高島町）、田口洋美  
 ゲストコメンテーター：太田威（写真家）  
 参加者 新潟県岩船郡山北町猟友会=29名  
 新潟県岩船郡山北町関係者=14名  
 新潟県村上市三面猟友会=5名  
 新潟県北魚沼郡湯之谷村猟友会=1名  
 新潟県十日町市猟友会=1名  
 秋田県北秋田郡阿仁町猟友会=5名  
 岩手県遠野市猟友会=2名  
 宮城県柴田郡川崎町猟友会=1名  
 山形県西置賜郡小国町猟友会=19名  
 山形県東田川郡朝日村猟友会=26名  
 山形県山形市猟友会=1名  
 長野県下水内郡栄村秋山郷猟友会=11名  
 長野県下高井郡山ノ内町猟友会=1名  
 その他、約20名 計、約136名

主催：第9回マタギサミット in 山北町実行委員会  
 後援：山北町、山北町観光協会  
 協力：山北町山熊田集落、山北町ふるさとふれあいセンター  
 山熊田長期滞在施設、狩猟文化研究所

**第10回 1999年6月19,20日:山形県東田川郡朝日村“湯殿山ホテル”**

**テーマ：里山の小動物たちとマタギについて**  
 特別講演『猿害の実態と対策について』高木直樹（獣害総合研究所代表）  
 特別講演『シベリア少数民族狩猟同行調査報告』田口洋美（狩猟文化研究所代表）  
 集落代表者パネルディスカッション-月山宣言の確認と採択-  
 伊藤覚（新潟県村上市三面）、大滝国吉（新潟県山北町山熊田）、  
 山田忠雄（長野県栄村秋山郷）、工藤朝男（山形県朝日村大鳥）、  
 舟山堅一（山形県小国町長者原）、椿勉（山形県高島町）、田口洋美  
 参加者 山形県東田川郡朝日村猟友会=46名  
 山形県西田川郡温海町猟友会=2名  
 山形県西置賜郡小国町猟友会=21名  
 山形県東置賜郡高島町猟友会=2名  
 新潟県岩船郡山北町猟友会=14名  
 新潟県村上市三面猟友会=5名  
 新潟県北魚沼郡湯之谷村猟友会=1名  
 新潟県十日町市猟友会=1名

秋田県北秋田郡阿仁町猟友会=5名  
岩手県盛岡市・遠野市猟友会=3名  
長野県下水内郡栄村秋山郷猟友会=5名  
その他、約30名  
計、約135名

主催：第10回マタギサミット in 朝日実行委員会（朝日猟友会・大泉猟友会）  
後援：朝日村、朝日村観光協会、田麦保観光協会  
協力：湯殿山ホテル、狩猟文化研究所

### 第11回 2000年7月1,2日：新潟県村上市瀬波温泉“ホテルすゞきヶ池”

テーマ：狩猟法改正にともなう諸問題

ゲストコメンテーター：藤村正樹（アウトバック代表）

特別講演『ロシア沿海地方における狩猟同行調査報告』

田口洋美（狩猟文化研究所・東京大学大学院）

特別講演『秋田マタギ小屋について』戸堀操（秋田県中仙町猟友会）

菅原徳蔵（秋田県秋田市）

参加者 新潟県村上市三面猟友会・青年会=14名  
新潟県岩船郡山北町猟友会=14名  
新潟県十日町市猟友会=1名  
長野県下水内郡栄村秋山郷猟友会=10名  
山形県西置賜郡小国町猟友会=21名  
山形県東置賜郡高島町猟友会=3名  
山形県東田川郡朝日村猟友会=15名  
山形県西田川郡温海町猟友会=2名  
山形県山形市猟友会=1名  
秋田県北秋田郡阿仁町猟友会=4名  
秋田県仙北郡中仙町猟友会=1名  
秋田県秋田市猟友会=1名  
岩手県盛岡市猟友会=1名  
その他、約32名  
計、約119名

主催：第11回マタギサミット in 三面実行委員会（三面猟友会・青年会）  
協力：ホテルすゞきヶ池  
朝日村奥三面遺跡調査室、狩猟文化研究所

### 第12回 2001年6月9,10日：秋田県北秋田郡阿仁町打当“打当温泉「マタギの湯」”

テーマ：特殊鳥獣保護管理計画制度に対する対応 vol.1

講演『クマ研究の近況』小松武志（阿仁町ツキノワグマ研究所）

講演『白いツキノワグマについて』岡輝樹（農林水産省森林総合研究所東北支所）

特別講演『特殊鳥獣保護管理計画制度に対する対応』三浦慎悟（農林水産省森林総合研究所東北支所）

参加者 秋田県北秋田郡阿仁町猟友会=約30名  
秋田県仙北郡中仙町猟友会=1名  
秋田県秋田市猟友会=2名  
岩手県遠野市猟友会=2名  
岩手県盛岡市猟友会=1名  
山形県東田川郡朝日村猟友会=18名  
山形県西田川郡温海町猟友会=2名  
山形県西置賜郡小国町猟友会=18名  
山形県東置賜郡高島町猟友会=4名  
山形県山形市猟友会=1名  
新潟県北魚沼郡湯之谷村猟友会=4名  
新潟県岩船郡山北町猟友会=16名  
新潟県村上市三面猟友会・青年会=6名  
長野県下水内郡栄村秋山郷猟友会=10名  
その他、約25名  
計、約137名

主催：阿仁町、第12回マタギサミット in 阿仁実行委員会  
共催：阿仁町猟友会  
後援：秋田魁新聞、秋北新聞、県北新聞、大館新報、ABS秋田放送、  
AKT秋田テレビ、AAB秋田朝日放送  
協力：打当温泉「マタギの湯」  
阿仁町ツキノワグマ研究所、狩猟文化研究所

### 第13回 2002年6月29,30日：長野県下水内郡栄村“さかえ倶楽部スキー場レストハウス”

“栄村村民会館”

テーマ：特殊鳥獣保護管理計画制度に対する対応 vol.2

特別講演『秋山郷とマタギ文化』田口洋美（狩猟文化研究所代表・東京大学大学院）

特別講演『長野県の姿勢について』佐藤繁（長野県庁）  
特別講演『奥地放獣の方法と課題』泉山茂之（野生動物保護管理事務所）・林秀剛（信州大学）  
全体討論『熊・猿害対策を考える』司会：福原洋一  
報告『栄村の被害状況について』栄村担当課

参加者 長野県下水内郡栄村猟友会=27名  
秋田県北秋田郡阿仁町猟友会=2名  
秋田県仙北郡中仙町猟友会=4名  
岩手県盛岡市猟友会=1名  
山形県東田川郡朝日村猟友会=16名  
山形県西置賜郡小国町猟友会=20名  
山形県西置賜郡高島町猟友会=2名  
新潟県岩船郡山北町猟友会=13名  
新潟県村上市三面猟友会・青年会=5名  
新潟県十日町市猟友会=1名  
群馬県利根郡新治村猟友会=2名  
山梨県小菅村猟友会=4名  
その他、約45名  
計、約141名

主催：第13回マタギサミット in 栄村実行委員会  
共催：栄村、栄村猟友会  
協力：さかえ倶楽部スキー場レストハウス  
信州ツキノワグマ研究会、狩猟文化研究所

#### 第14回 2003年6月28,29日：山形県西置賜郡小国町五味沢“白い森交流センター りふれ”

特別プログラム『東北マタギの伝統的資源利用に関する調査報告』  
日産科学財団助成金小国プロジェクト  
「小国の山地地形」長谷川裕彦（明治大学文学部非常勤講師）  
「小国の人為植生」中川重年（神奈川県立自然環境保全センター）  
「小国マタギの過去と現在」田口洋美（狩猟文化研究所代表・東京大学大学院）  
「共生の民俗知」佐藤宏之（東京大学大学院助教授）

テーマ：特殊鳥獣保護管理計画制度に対する対応 vol.3  
「動物愛護と狩猟との関係：改正鳥獣法の概要」東海林克彦（環境省自然環境局動物愛護管理室）

参加者 山形県西置賜郡小国町猟友会=52名  
山形県東置賜郡高島町猟友会=2名  
山形県東田川郡朝日村猟友会=16名  
山形県米沢市猟友会=1名  
新潟県村上市三面猟友会=3名  
新潟県岩船郡山北町猟友会=9名  
新潟県十日町市猟友会=1名  
秋田県北秋田郡阿仁町猟友会=3名  
秋田県由利連合会猟友会=3名  
秋田県秋田市猟友会=1名  
秋田県仙北郡中仙町猟友会=1名  
岩手県盛岡市猟友会=1名  
長野県下水内郡栄村秋山郷猟友会=3名  
長野県下高井郡山ノ内町猟友会=1名  
その他、約40名  
計、約136名

主催：第14回マタギサミット in おぐに実行委員会  
後援：小国町  
小国町猟友会  
協力：東京大学大学院佐藤宏之研究室  
狩猟文化研究所  
白い森交流センターりふれ

#### 第15回 2004年7月3,4日：新潟県岩船郡山北町勝木“交流の館 八幡”

テーマ：猟友会の新たな展開  
「マタギと文学、その可能性」熊谷達也（作家）  
「大日本猟友会の現状と問題点」小熊實（大日本猟友会専務理事）  
「マタギ特区構想について」小松武志（秋田県阿仁町職員）  
「地域個体群保全管理狩猟の構築へ向けて：朝日連峰猟友協議会設立構想」田口洋美（狩猟文化研究所代表・東京大学大学院）  
パネルディスカッション「猟友会の新たな展開」  
熊谷達也・小熊實・小松武志・田口洋美

参加者 新潟県岩船郡山北町猟友会=29名  
山形県西置賜郡小国町猟友会=15名  
山形県東置賜郡高島町猟友会=2名  
山形県東田川郡朝日村猟友会=22名

山形県東田川郡温海町猟友会=2名  
新潟県村上市三面猟友会=3名  
新潟県中条町猟友会=1名  
新潟県十日町市猟友会=1名  
秋田県北秋田郡阿仁町猟友会=2名  
秋田県秋田市猟友会=1名  
秋田県仙北郡中仙町猟友会=1名  
岩手県盛岡市猟友会=1名  
長野県下水内郡栄村秋山郷猟友会=10名  
その他、約40名 計、約134名

主催：第15回マタギサミット in 山北実行委員会  
後援：山北町、山北町猟友会  
協力：大日本猟友会  
狩猟文化研究所  
交流の館「八幡」

**第16回 2005年6月25,26日：山形県東田川郡朝日村“すまいる”“湯殿山ホテル”**

テーマ：狩猟の新しい流れ：若者の声を聞く

「尾瀬での試み」橋本幸雄（(財)尾瀬保護財団）

「北海道西興部村の試み」伊吾田宏正（NPO法人西興部村猟区管理協会）

パネルディスカッション&総合討論：

パネラー：工藤朝男・熊谷達也・小松武志・田口洋美・橋本幸彦・伊吾田宏正

参加者 山梨県北都留郡小菅村猟友会=3名  
山形県西置賜郡小国町猟友会=13名  
山形県東置賜郡高島町猟友会=2名  
山形県東田川郡朝日村猟友会=42名  
山形県東田川郡温海町猟友会=2名  
新潟県岩船郡山北町猟友会=15名  
新潟県村上市三面猟友会=2名  
新潟県中条町猟友会=1名  
新潟県十日町市猟友会=1名  
秋田県北秋田郡阿仁町猟友会=1名  
秋田県大仙猟友会=3名  
岩手県盛岡市猟友会=1名  
長野県下水内郡栄村猟友会=6名  
その他、約56名 計、約148名

主催：第16回マタギサミット in あさひ実行委員会  
後援：朝日村  
朝日村観光協会、田麦俣観光協会  
朝日村庄内森林環境保全ふれあいセンター  
協力：狩猟文化研究所、湯殿山ホテル、朝日村すまいる

**第17回 2006年6月23,25,26日：山形県山形市 東北芸術工科大学・厚生年金会館ウエルサンピア山形**

テーマ：21世紀における持続的資源利用を目的とした狩猟システムの構築へ向けて

参加者 山形県西置賜郡小国町猟友会=15名  
山形県東置賜郡高島町猟友会=2名  
山形県鶴岡市朝日猟友会=18名  
山形県東田川郡温海町猟友会=2名  
山形県西村山郡西川町大井沢=2名  
山形県・山形市猟友会=3名  
新潟県岩船郡山北町猟友会=13名  
新潟県村上市三面猟友会=3名  
新潟県中条町猟友会=1名  
新潟県十日町市猟友会=1名  
秋田県北秋田市阿仁猟友会=3名  
秋田県大仙猟友会=3名  
岩手県盛岡市猟友会=2名  
長野県下水内郡栄村猟友会=6名  
その他、約56名 計、約146名

主催：第17回ブナ林と狩人の会：マタギサミット in やまがた実行委員会  
後援：東北芸術工科大学東北文化研究センター  
協力：東北芸術工科大学大学院芸術工学研究科赤坂憲雄研究室  
東北芸術工科大学芸術学部歴史遺産学科田口洋美研究室  
狩猟文化研究所  
文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金「少子高齢化時代における持続的資



源利用型狩猟システムの開発に関する新領域研究」研究チーム  
厚生年金会館ウエルサンピア山形

第18回 2007年6月30日:東京大学農学部弥生講堂一条ホール、鳳明館森川別館

テーマ:今、マタギが語る—自然とともに歩むために—

参加者 山梨県小菅村猟友会=4名  
長野県下水内郡栄村猟友会=8名  
山形県西置賜郡小国町猟友会=15名  
山形県東置賜郡高島町猟友会=2名  
山形県鶴岡市朝日猟友会=18名  
山形県・山形市猟友会=3名  
新潟県十日町市猟友会=1名  
秋田県北秋田市阿仁猟友会=4名  
秋田県大仙猟友会=3名  
岩手県和賀猟友会=2名  
岩手県盛岡市猟友会=2名  
東北芸術工科大学芸術学部学生ボランティア=12名  
その他、約231名 計、約320名

主催:第18回ブナ林と狩人の会:マタギサミット in 東京実行委員会

【実行委員会の構成】

- ・ 科研チーム(「少子高齢化時代における持続的資源利用型狩猟システムの開発に関する新領域研究」)
- ・ 東北芸術工科大学東北文化研究センター
- ・ 狩猟文化研究所

後援:大日本猟友会

WWF-Japan  
野生生物保護学会  
JBN(Japan Bear Network)

協力:東京大学大学院人文社会系研究科佐藤宏之研究室  
東京大学大学院農学生命科学研究科酒井秀夫研究室  
東京大学農学部弥生講堂一条ホール  
東京大学安田講堂中央食堂  
東北芸術工科大学

第19回 2008年6月28.29日:長野県下水内郡栄村 栄村村民会館“かたくりホール”  
“さかえ俱樂部スキー場レストハウス”

テーマ:伝統と現代—文化継承リスクを考える—

参加者 山梨県小菅村猟友会=3名  
長野県下水内郡栄村猟友会=27名  
山形県西置賜郡小国町猟友会=17名  
山形県東置賜郡高島町猟友会=2名  
山形県鶴岡市朝日猟友会=15名  
山形県・山形市猟友会=2名  
新潟県十日町市猟友会=1名  
新潟県村上市松山三面=2名  
秋田県北秋田市阿仁猟友会=5名  
秋田県大仙猟友会=3名  
岩手県和賀猟友会=2名  
岩手県盛岡市猟友会=1名  
東北芸術工科大学芸術学部学生ボランティア=12名  
科研チーム=9名  
その他、約41名 計、約142名

主催:第19回ブナ林と狩人の会:マタギサミット in 栄村実行委員会

【実行委員会の構成】

- ・ 栄村猟友会
- ・ 狩猟文化研究所

後援:栄村

協力:東北芸術工科大学東北文化研究センター  
科研チーム(「少子高齢化時代における持続的資源利用型狩猟システムの開発に関する新領域研究」)  
栄村村民会館

第20回 2009年6月27.28日:秋田県北秋田市阿仁 阿仁文化会館

テーマ：伝統と現代—文化継承リスクを考える—

参加者 山梨県小菅村猟友会=3名  
長野県下水内郡栄村猟友会=27名  
山形県西置賜郡小国町猟友会=12名  
山形県東置賜郡高島町猟友会=2名  
山形県鶴岡市朝日猟友会=10名  
山形県・山形市猟友会=2名  
新潟県十日町市猟友会=1名  
新潟県村上市松山三面=2名  
秋田県北秋田市阿仁猟友会=36名  
秋田県大仙猟友会=11名  
岩手県和賀猟友会=2名  
岩手県盛岡市猟友会=1名  
東北芸術工科大学芸術学部学生ボランティア=12名  
その他、約41名 計、約158名

主催：第20回ブナ林と狩人の会：マタギサミット in 阿仁実行委員会

【実行委員会の構成】

- ・北秋田市猟友会
- ・東北芸術工科大学芸術学部歴史産学科田口研究室
- ・狩猟文化研究所

後援：北秋田市教育委員会

協力：東北芸術工科大学東北文化研究センター  
北秋田市阿仁文化会館

## 第21回 2010年7月3.4日：山形県西村山郡朝日町自然観 ホテル自然観

山形県西村山郡朝日町エコ・ミュージアム 大ホール

テーマ：何故、クマは里に下るか。

参加者 長野県下水内郡栄村猟友会=10名  
長野県北安曇郡小谷村猟友会=2名  
山形県西置賜郡小国町猟友会=18名  
山形県東置賜郡高島町猟友会=3名  
山形県鶴岡市大泉猟友会=5名  
山形県・山形市猟友会=3名  
福島県猟友会北支部=2名  
新潟県十日町市猟友会=2名  
新潟県村上市松山三面=1名  
秋田県北秋田市阿仁猟友会=9名  
秋田県由利本荘市由利連合猟友会=4名  
秋田県大仙猟友会=5名  
岩手県和賀猟友会=1名  
岩手県猟友会=3名  
北海道西興部村猟区管理協会=3名  
東北芸術工科大学芸術学部学生ボランティア=16名  
その他、約62名 計、約149名

主催：第21回ブナ林と狩人の会：マタギサミット in 阿仁実行委員会

【実行委員会の構成】

- ・山形県猟友会
- ・東北芸術工科大学芸術学部歴史産学科田口研究室
- ・狩猟文化研究所

後援：山形県・朝日町

協力：東北芸術工科大学東北文化研究センター  
ホテル自然観  
朝日町エコ・ミュージアム

## 第22回 2011年7月3.4日：秋田県由利本荘市鳥海町 ホテル フォレスタ鳥海

テーマ：東日本大震災と長野県北部地震への対応

何故、クマは里に下るか vol.2.

参加者 長野県下水内郡栄村猟友会=10名  
山形県西置賜郡小国町猟友会=16名  
山形県東置賜郡高島町猟友会=3名  
山形県鶴岡市大泉猟友会=7名  
山形県・山形市猟友会=3名  
新潟県十日町市猟友会=1名  
秋田県北秋田市阿仁猟友会=10名

秋田県由利本荘市由利連合猟友会=46名  
秋田県大仙猟友会=4名  
岩手県和賀猟友会=1名  
岩手県猟友会=3名  
北海道西興部村猟区管理協会=2名  
東北芸術工科大学芸術学部学生ボランティア=6名  
その他、約3名 計、約115名

主催：第22回『ブナ林と狩人の会：マタギサミット in 鳥海』実行委員会  
松田美博（由利連合猟友会）、田口洋美（狩猟文化研究所、東北芸術工科大学）  
共催：秋田県由利連合猟友会  
後援：由利本荘市 秋田県猟友会  
協力：ホテル フォレスタ鳥海  
東北芸術工科大学東北文化研究センター  
狩猟文化研究所

### 第23回 2012年6月30日、7月1日 岩手県遠野市 あえりあ遠野

テーマ：今、東北の山々で何が起きているのか？

参加者 大日本猟友会=2名  
岩手県遠野猟友会=10名  
長野県下水内郡栄村猟友会=8名  
山形県西置賜郡小国町猟友会=17名  
山形県東置賜郡高畠町猟友会=3名  
山形県鶴岡市大泉猟友会=6名  
山形県・山形市猟友会=3名  
新潟県十日町市猟友会=1名  
秋田県北秋田市阿仁猟友会=9名  
秋田県由利本荘市由利連合猟友会=13名  
秋田県大仙猟友会=4名  
岩手県和賀猟友会=1名  
北海道西興部村猟区管理協会=4名  
東北芸術工科大学芸術学部学生ボランティア=16名  
その他、約47名 計、約160名

主催：第23回『ブナ林と狩人の会：マタギサミット in 遠野』実行委員会  
小原正弘（岩手県猟友会）、前川さおり（遠野市・遠野文化研究センター）  
田口洋美（狩猟文化研究所、東北芸術工科大学）  
共催：遠野市、岩手県猟友会  
後援：遠野猟友会 東北芸術工科大学東北文化研究センター  
協力：あえりあ遠野  
遠野文化研究センター  
狩猟文化研究所

< メモ >

A series of horizontal dotted lines for writing notes.

Handwriting practice sheet with 30 horizontal dotted lines.